

令和6年度 山五小 学校教育目標具現化のための「学校経営グランドデザイン」

山形市立第五小学校

- ◎教育基本法 学校教育法 社会教育法
- 第4期教育振興基本計画
- 第6次山形県教育振興計画
 - 基本目標:人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり
- 山形市教育振興基本計画
 - 基本理念の主題:郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり
 - 学校教育の基本理念:「感動」「感謝」「信頼」
- 山形市学校教育の重点目標
 - 魅力ある学校づくり 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
 - 安全・安心の学校づくり いじめ・不登校の未然防止と迅速な初期対応
 - 連携による教育の充実 保護者・地域・関係機関との連携の充実
 - 学校の実情に応じた働き方改革 チーム学校体制の強化、教育課程の精選

【目指す学校像】 誰もが安心して学べる魅力ある学校

【学校教育目標】 **運動大好き** **自分・友達大好き** **勉強大好き**

【目指す子供像】

- 〈運動大好き〉 健康でたくましく生きぬく子供
- 〈自分・友達大好き〉 自分のよさを知り友達とかかわり合える子供
- 〈勉強大好き〉 課題をもち自ら学び続ける子供

【目指す教師像】 一人一人の子供を大切に、温かな思いで支え続ける教師

【教育の重点】 学校として育成を目指す資質・能力

〈知識及び技能〉 ○身に付けた知識や技能を学習や生活に生かすことができる。
 〈思考力、判断力、表現力等〉 ○根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。
 〈学びに向かう力、人間性等〉 ○自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとする。

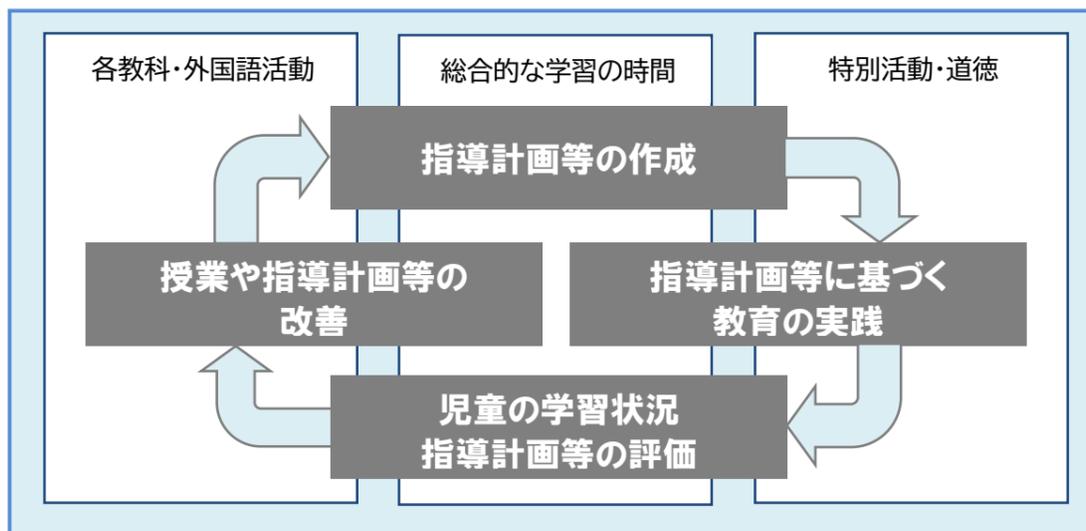
経営の方針

- 一人一人のよさや可能性が活かされる安全・安心な風土を醸成する。
- 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する。
- 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する。

経営の重点

- 多様性を重視した一人一人の子供を主語にする教育活動の推進
- 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導の充実
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の観点からの授業改善

教育課程の編成・実施・評価・改善



教育の重点設定理由(学校評価等から見えたよさ◎と課題●)

- ◎素直で明るい。自然な挨拶・対話ができる児童が多い。
- ◎協力的な家庭で育っている児童が多い。
- ◎本物の学びにつながる「人材・施設・文化」が学区に存在している。
- ◎伝統、歴史ある学校の一員としての自覚が育ってきている。
- ☆考える力がついてきているが、率先して発言する児童に限られている。
- ☆地域とつながる機会が増えたが、受け身で満足している傾向がある。
- 伝え合う力(理解して聞く・自分の言葉で伝える)を強化したい。
- みんなと同じことをして安心せず自分から行動できるようにしたい。
- 自ら働きかけ、自分を成長させるために努力する姿を増やしたい。

運営協議会

◆地域をつなぐ存在としての学校を意識し、「学校」「保護者」「地域」が個々の役割を担って連携・協働して取り組む。

協議 学校運営の基本方針の認、学校運営への意見など

熟議 本校の子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有する。

協働 「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共

教育の重点に係る評価及び検証方法 ⇒ 地域学校協働活動の実施

- 学校評価(児童、保護者、学校関係者による)
 - 自己評価の実施・公表
 - ・目標の達成状況や達成に向けた取組みの適切さ等
 - ・評価項目・指標の設定
 - ・改善策の検討
 - 学校関係者評価の実施・公表
 - ⇒教育の質の保証・向上
- 客観的データ
 - 全国学力・学習状況調査
 - Q-U 質問紙調査 等
- 教職員の人事評価
 - ・業績目標の設定・教育の実践・自己評価・業績目標の更新
 - ⇒教職員の資質向上 学校組織の活性化
 - 通知表の内容検討

経営の方針・重点に係る具体的な取組

- 〈育ちづくり部〉
 - 自他を大切に「いのちの教育」の充実
 - めあての達成と体力の向上を図るチャレンジタイムの設定
 - 生活習慣の改善を図る健康教育の充実
 - 安全・安心な生活に向けた安全教育の充実
- 〈くらしづくり部〉
 - 一人一人の児童理解に基づく適切な対応
 - 子供同士の絆を育む仲良し班(縦割り班)活動の充実
 - 特別活動における子供の自主的、実践的な取組の充実
 - 地域資源や人材を活用した学習活動の展開
- 〈学びづくり部〉
 - 指導と評価が一体となった授業づくり
 - 子供が主体となる情報収集や発信等の機会の設定
 - 自己決定の場の提供と振り返りの充実
 - 自分に合った方法で取り組む家庭学習の習慣化

<働き方改革>

- 職員の意識改革
 - ・学校として育成を目指す資質・能力や経営方針を明確化し、その目標達成のために真に必要な業務に注力できるようにする。
 - ・各学級の経営計画と人事評価の目標設定を連動させ、教職員の資質向上や学校組織の活性化とともに校務のスリム化・効率化を図る。
- 学校の改革
 - ・教育課程全体の見直しにより、教材研究や授業準備時間の確保及び業務負担の軽減を図る。
 - ・地域学校協働活動推進員やスクールサポートスタッフとの業務分担を明確化し、職員の事務負担を軽減する。
- 同僚性の構築
 - ・教科担任制を一部導入し、担当する教科数を削減するとともに、教材研究の負担軽減を図る。
 - ・配慮が必要な児童に対し、複数の教師が目配りできるよう、また、早期に問題等を解決できるよう、日常的に情報を共有する。